臨床化学研修会報告書
生涯教育研修会報告書
学発番号 第 12-021 号

平成 24 年 7 月 24 日報告
報告者：後藤直希
所属：京都保健衛生専門学校
連絡先：075-801-257

主題：臨床検査分野 研修会
主題 1：「統計解析 初めの一步 ～検定の意味と使い方～」
講師 1：新井 堅仁 氏
主題 2：「検査室からの問い合わせ 異常発生の要因 ～酵素項目を中心に～」
講師 2：新井 堅仁 氏

日時：平成 24 年 7 月 24 日（火） 18:30～20:30
場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
分類：臨床化学部門 4 検体検査 52 20 点
全体参加人数：10 人
京臨技会員参加人数：6 人
他府県会員参加人数：0 人
学生参加者：0 人
仮会員参加人数：0 人
非会員参加人数：人

以下、講演内容など

今回は関東化学株式会社の新井氏に統計の基礎から異常値発生についてお話いただきました。統計に関しては t 検定、f 検定の基本を、エクセルを使い説明していただきました。現在では数字を入力すると結果がでるという便利な環境にありますが、改めて検定の仕方を説明していただき、良い勉強となった。

後半はいわゆる「ピットフォール」について具体的な事例を挙げて説明していただきました。どのような場合でも、検査する技師が測定方法の原理、試薬の特徴、タイムコースなどを理解して測定することが、大切であることを感じた。ただ、ボタン押し、測定し、結果を返すだけで検査をこなしていると、対応ができない。検査項目の多い生化学検査ではあるが、添付文書を読み、干渉チェック、最小感度の基礎検討の重要性も感じる内容であった。